

「ぼくの夢を追うぼく」

高松市立檀紙小学校六年 鈴木 雅隆

世界中には、たくさん動物たちがいます。そして、その動物たちには命というものがああります。そんな、動物たちの命を救う医師がいます。今、ぼくは獣医師になり、一匹でも多くの命を救いたいと思っています。

ぼくは、動物のことが大好きです。でも、初めから獣医師になろうと思ったわけではありません。ある二つの出来事がきっかけで、ぼくは獣医師になろうと決断しました。その一つは、「犬たちをおくる月」という本を読んだからです。その本には、動物を飼うことに飽きた、飼った犬がばかだから、飼うのにお金がかかるなどの人間たちの自分勝手な都合で動物たちが捨てられ、殺処分されているということが書かれてありました。ぼくはその現実を知り、思わず泣いてしまいました。なぜなら、動物たちは何にも悪いことをしていないのに、人間に捨てら

れ、殺処分前まで飼い主のことをひたすら信じて待っているからです。ぼくはそんな動物たちを助けたい、一匹でも多くの命を救いたいと思いました。

そしてもう一つ、獣医師になろうと思った出来事は、ぼくの飼っている柴犬まるの避妊手術のことです。柴犬まるは雌犬で当然、子犬を産むことができます。しかし産まれた子犬たちすべてを生涯、責任を持って育てることはできない、と家族で判断し避妊手術をしました。手術が終わった日の夕方、ぼくはまるに会いに行きました。ぼくが名前を呼ぶと、ゲージの中のまるはしっぽを振ってキラキラした目でぼくを見つめてきました。しかし、しばらくすると、ゲージから出してもらえず家に帰れないと悟ったのか、いくらか名前を呼んでも全くぼくの方を見なくなったのです。そんなまるの様子を見たぼくは、もっと簡単な避妊の方法が

できないのか、ぼくが獣医師になって実現させたいと思いました。

この二つのことからぼくは、獣医師になろうと決意し、その道を行こうと思いましたが、その道として、大学で獣医学部に入り獣医師免許を取得しなければなりません。さらに、数多くの動物のことが分かるように動物の生態について知っておくことも必要です。ライフプラン表を見返しても、授業料や生活費などたくさんのお金と時間がかかる事も分かります。そして周りの方の協力も必要になるでしょう。ぼくは、ぼくのために応援してくれる人への感謝を忘れることなく、これから獣医師になるためにどんな苦労にも立ち向かっていきたいです。

将来、獣医師になる。動物たちの気持ちを一番に考えることができる、さらに一匹でも多くの動物の命を救うことができる、そういう獣医師を目指します。

鈴木雅隆 のライフプラン

将来何になりたいか？ 獣医師

その理由： 動物たちの命を一匹でも多く救いたいから。

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2017年	10(小4)	動物系の本を買い、読む。	本代
...	...	動物園などにたくさん行く。	
2019年	12(小6)	小学校卒業	
2020年	13(中1)	中学入学, 部活動を頑張る	塾代
2021年	14(中2)	勉強, 部活を頑張る。	
2022年	15(中3)	高校受験, 中学卒業	
2023年	16(高1)	高校入学, 理科系の勉強を頑張る。	授業料, 塾代
2024年	17(高2)	理科の勉強を頑張る。	授業料, 塾代
2025年	18(高3)	大学受験, 高校卒業	授業料, 塾代
2026年	19(大1)	大学入学(獣医学部)	入学金
...	...	いろいろな動物研究	授業料 生活費
2030年	23(大5)		
2031年	24(大6)	獣医師国家試験合格, 大学卒業	授業料
2032年	25	夜間も対応している動物病院で	生活費
...	...	修業	
2037年	30	自分の病院を開業	開業資金